

# べっぴん 市議会だより

2020.2.1

No.149

## 市民と議会との対話集会（議会出前講座）



別府鶴見丘高等学校



別府翔青高等学校



別府溝部学園高等学校



明豊高等学校

### CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P5～11 一般質問（19名が市政を問う）、常任委員会行政視察報告
- P12 市民と議会との対話集会（議会出前講座）、編集後記

# おもいやりの街別府！

令和元年第4回定例会は12月5日から12月20日までの16日間にわたり開催されました。今定例会では、予算議案6件、条例議案18件、議員派遣1件が上程されました。採決においては、6件の議案について、一部の議員から反対する旨の意思表示がありました。すべての議案が原案のとおり可決されました。

今議会では、来年開催される東京オリンピックの聖火が、九州最初の地として別府市に届くこと、また、パラリンピックにおいては、県内18市町村(17か所)で採火された聖火が別府市に集められ、開催都市東京へ出立することが決定されたことに伴い、障がい者と共生する本市の姿を国内外に広く情報発信することにより、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として「おもいやりの街づくり」

を推進するための補正予算について数名の議員から質疑がありました。

当局より、「事業費の内訳は、別府市国際スポーツキャンプ誘致委員会の負担金であり、補正予算の内容はこの委員会で行うパラアスリートによる講演会の開催経費及び動画の製作と広報費である。」また、「共生社会ホストタウンに登録すること、パラリンピアンとの交流事業や共生社会の実現に向けた心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの街づくり事業に対し、一定の特別交付税措置が受けられる。」別府市では、東京パラリンピックに向けた事前キャンプの実施に係る協定を締結しているラオスを相手国としてホストタウンと共生社会ホストタウンの両方に登録申請しており、12月中には正式に登録される予定であること。すでに

ラオスのパラリンピアンが本市で3度キャンプを行い、市内の小学校で交流している。来年度も引き続き実施予定である。」との説明がなされました。

議員からは、ラオスのパラリンピアンや市内の配慮が必要な人と交流する際の移動手段を懸念する質問がなされ、当局より、「交流場所として想定している太陽の家や学校への移動は、それぞれの団体と連携し検討したい。」との答弁がなされました。

これに対し、議員より、ラグビーワールドカップで盛り上がった機運を来年の東京オリンピック・パラリンピックにつなげてほしいとの要望がなされました。

※パラリンピアン  
パラリンピック選手。パラリンピック出場経験者。

## ～ 主な議案の概要 ～

### ● 一般会計補正予算

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

#### 国際スポーツ大会事前キャンプ等の誘致に要する経費 …… 1,138万円

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機とした「おもいやりの街づくり」の推進をします。

#### 児童扶養手当支給に要する経費 …… 1億3,255万円

児童扶養手当の支給回数が年3回から年6回に変更になることに伴い、3か月分の扶助費を追加します。

### ● 条例

#### 別府市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

市町村民税非課税世帯に属する小中学生の通院に係る医療費を助成することに伴い、条例を改正します。

#### 別府市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

令和2年度から公共下水道事業に地方公営企業法を全部適用し、公共下水道事業と水道事業を統合し、公営企業による一元的運用をすることに伴い、条例を改正します。

### 第4回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第113号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)	議第126号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第114号	令和元年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第127号	別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第115号	令和元年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第2号)		議第128号	別府市手数料条例の一部改正について	
議第116号	令和元年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		議第129号	別府市総合教育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第117号	令和元年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)		議第130号	別府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議第118号	令和元年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第131号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		
議第119号	別府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	議第132号	別府市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について		
議第120号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部改正について	議第133号	別府市環境保全条例の一部改正について		
議第121号	別府市立学校職員の給与等に関する条例等の一部改正について	議第134号	別府市竹細工伝統産業会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		
議第122号	別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	議第135号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		
議第123号	別府市役所事務分掌条例の一部改正について	議第136号	別府市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		
議第124号	別府市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	報告第15号	市長専決処分について	報告	
議第125号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		議員派遣	原案可決(全会一致)	

### 賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																									
			自民党議員団												公明党		自民新国会	市民クラブ		日本共産党議員団		改革クラブ						
			12人												4人		3人	3人		2人		1人						
			首藤正	河野数則	野口哲男	松川峰生	黒木愛一郎	萩野忠好	松川章三	安部一郎	手束貴裕	阿部真一	日名子敦子	梶田眞	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	山本一成	森一大輔	小野正明	加藤信義	森山義治	三重忠昭	平野文活	美馬恭子	泉武弘	
議第119号	別府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第120号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第121号	別府市立学校職員の給与等に関する条例等の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第122号	別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第123号	別府市役所事務分掌条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第126号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により、採決に加われない議案は「除」

### 令和2年第1回定例会(予定)

- 2月27日 議案上程
  - 3月3日 議案質疑、委員会付託
  - 4日 常任委員会審査
  - 9日 常任委員会委員長報告、討論、表決
  - 10日～12日 予算決算特別委員会
  - 13日・16日～18日 一般質問
  - 23日 予算決算特別委員会委員長報告、討論、表決
- ※日程は変更することがあります。

### 請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることを行います。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。なお、令和2年第1回定例会の請願の受付期限は2月18日(火)17時までです。

### 傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階にお越しください。傍聴席は80席あり、車いす席も6台分用意しております。聴覚障がい者の議会傍聴については、手話通訳・要約筆記の対応しております。傍聴を希望される方は、傍聴の3日前までに議会事務局にお申込みください。



## 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した令和元年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、12月10日に4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

### スポーツ健康総務に要する経費について

**問** 別府市中学校体育連盟補助金とは。

**答** 本市のスポーツ振興に資するため、別府市中学校体育連盟に対して、全国・九州・大分県中学校体育連盟主催の「九州・全国中学校体育大会」「大分県総合体育大会」「大分県駅伝競走大会」の出場費を補助するものです。

**問** 補助金増額の理由は。

**答** 大分県総合体育大会にて好成績を収め、九州・全国大会に出場する生徒が増加しました。九州大会出場者が昨年度45名であったものが60名に、全国大会は昨年度11名であったものが27名にそれぞれ増加しました。

また全国大会の開催プロックが昨年度中国地方であったものが、今年度は近畿地方であったためです。

### 自立支援給付・障害児通所支援に要する経費について

**問** A型事業所とB型事業所があるが、その違いはどのようなものか。

**答** 障がいのある方が、支援を受けながら働くための訓練を受けるサービスが、就労継続支援です。A型は事業所と利用者との間に雇用契約を結び、労働基準法に準じた業務を行いますので、地域の最低賃金を守ることが義務付けられています。B型は、働くだけではなく、働く場と日中の居場所が同居しているという性質を持っており、状態に合わせて作業内容を調整することができるといいます。B型は、働くだけではなく、働く場と日中の居場所が同居しているという性質を持っており、状態に合わせて作業内容を調整することができるといいます。

所が同居しているという性質を持っており、状態に合わせて作業内容を調整することができるといいます。B型は、働くだけではなく、働く場と日中の居場所が同居しているという性質を持っており、状態に合わせて作業内容を調整することができるといいます。

**問** B型給付費事業所は今後も増加していくのか。

**答** アンケートから得た就労系サービス利用希望割合から過不足ニーズを試算すると、現時点での施設定員からさらに不足があり、事業所増加の可能性があり、B型事業所は、県でも生産活動等を通じた生きがいの創出や収入を得る場としての役割を重視されていることも要因の一つと考えます。

**問** 自立支援給付・障害児通所支援に要する経費について。

**答** 自立支援給付額の増加の主な要因は、日常生活に必要な介護支援や地域生活に必要な訓練的支援を必要とする利用者数の増加、それに伴った事業所の増加によるものです。障害児通所支援の増加要因も同様です。

## 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、令和元年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

### 総務企画消防委員会

市民ニーズや行政課題などに対応するため、組織改編を令和2年4月1日に予定し、条例改正するものである旨の説明がありました。委員からの機構改革で「防災局」を新設するねらい

「防災局」を新設するねらいについての質疑に対し、当局から、局を新設することにより平日頃から全庁体制での準備が可能となり、市長、副市長指揮のもと情報の意思伝達のスピード化が図られることがねらいであると答弁がありました。

### 観光建設水道委員会

「心のバリアフリーの推進」を目的として、ラオスのパラリンピアンとの交流を行うための「共生社会ホストタウン」への登録、また、パラオスリートによる講演会の開催及び動画制作を行うための経費を補正計上しているとの説明がありました。委員からの動画の制作及

び公開の方法についての質疑に対し、動画制作は、プロポーザル方式により公募を行い、年度内に動画サイトYouTube等で公開を予定しているとの答弁がありました。

### 厚生環境教育委員会

「自立支援給付費」及び「障害児通所給付費」を利用者数や事業所数の増加に伴い補正計上しているとの説明がありました。

委員からの通所支援利用者数の今後の見込みについての質疑に対し、当局から平成28年の法改正により相談体制の整備が図られたことから、増加傾向は継続する見込みであるとの答弁がありました。

さらに委員から、対応策について質疑があり、当局から、民間との連携等により、早期発見・早期療育を推進していきたいとの答弁がありました。

## 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では19名の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

### 市営温泉の入浴料改定について

公明党

堀本 博行 議員



**問** 今回、令和2年10月1日から市営温泉の入浴料の値上げ方針が示された。登録有形文化財の施設・あつ湯ぬる湯の施設・普通浴の施設とこれまで統一されていた入浴料に差が生じている。市民の理解が得られるのか。また、市民に身近な市民入浴券についても値上げ幅が大きい。普通浴の永石温泉とあつ湯ぬる湯の浜脇温泉を比較してみると、永石温泉が1980円から

2970円に、浜脇温泉が1980円から3960円と値上げ幅が余りに大きい。市民生活に与える影響も考慮して激変緩和措置として単年度で上げるのではなく、2年・3年で段階的な値上げはできないか。

**答** 今回の方針案を示した後、市民から直接、またSNS等を通じてさまざまなご意見をいただき、温泉が非常に市民生活に密着していると改めて認識しています。赤字改善への理解を得て、影響が緩やかになるよう検討を含めて対応します。

この10月は消費税が上がり、高齢者の入浴優待券も180回分が縮小に向けて検討される。特に年金生活の高齢者に対する配慮をお願いしたい。

### ざぼん園、高齢者の運転免許証の返納について

自民党議員団

河野 数則 議員



**問** ざぼん園は開設から55年以上経過している。樹木の老木化や、北側斜面に面している立地、隣接には姫山メンヒル、御霊社等の文化財も点在しており、今後は、市内の各農家の目の届く所に、一戸に2〜3本ずつ植えていただき、そのできた実を買い取る方法等を検討することを提案するがどう考えるか。また、ざぼんを活用した別府みやげの復活を目標に良い品質のざぼんを多く収穫できるようにと考えるがどうか。

**答** 今後のざぼん園の方向性について、提案を受けた意見を参考にしながら、ざぼん活用製品の開発や、ざぼんの木の品質管理向上に向けて、検討していきます。

**問** 高齢運転者による交通

事故が社会問題化している。運転免許証返納により、いわゆる買い物難民となる不安があげられると考える。運転免許証返納後、電動アシスト自転車の購入支援やノルディック・ウォークの普及、公園内の園路整備、狭隘道路の整備、側溝の安全化等を考えるべきと思うがどう考えるか。

**答** 今後、国の動向や、他都市の導入事例を参考とし、別府市の地形や道路環境に合う整備や、代替移動手段の普及を調査検討します。

### 大規模風水害の備えについて

市民クラブ

森山 義治 議員



**問** 南立石板地川の水路や200メートル以上ある暗渠などの維持管理はどうしているか。また、富士見通りと国道10号交差点付近の冠水対策はどうしているか。

**答** 南立石板地川上流は水

路の暗渠部分にゴミなどが流れ込まないよう設置しているスクリーンの清掃などをゴミ量に応じて、週1回〜月1回の頻度で行っています。また、富士見通りは道路冠水を解消するため雨水幹線整備の基本設計をしています。

**問** 新たな課題である電力トリアージに対する市の対応は。

**答** 災害時の電源確保や電力復旧の優先順位と併せて考えておく課題であり、情報伝達の訓練や電源配置のリストラ化について電力会社と協議します。

**問** 5人以上の災害ボランティア活動に対し、宿泊費や交通費などの助成制度を新設できるか。

**答** 今後、多くの市民が、復興支援する土壌づくりや、一部自治体では「助成制度」などに取り組んでいる事例もありますので、関係機関と検討します。

**問** 市内に、ユニバーサルデザインタクシーの台数が



少なく利用しづらいとの声がある。この車両購入費の助成制度はあるか。

**答** 別府市福祉サービス事業あり方検討委員会でも利用促進の見直しが必要とされていきますので、利用促進のための改善の施策を検討中です。

※電力トリアージ  
停電が長期化する中、応急対策として活用される電源車を緊急度に応じ優先順位をつけ配置、電力供給していくこと。

**市営温泉の指定管理者制度について**

自民新政策

おの まさあき  
**小野 正明** 議員



**問** 現在、市営温泉は14施設ある。指定管理者制度によって民間の業者・団体に運営管理をお願いしているが、メンテナンス等の対応はどうなっているのか。

**答** それぞれ協定書の中で修繕等は指定管理者が行う

ようになっていきますが、サービスの低下を招かないようにそれぞれの事案で管理者と協議をしながら進めています。

**問** 市営温泉の料金改定は指定管理者にどのような影響があるのか。

**答** サービスの充実に取り組むための料金改定であり、今後、指定管理料の見直しに合わせて協議していきます。

**問** 市営温泉の料金改定が、共同温泉との共存に資することを望むが考え方は。

**答** 区営温泉等からも市営温泉の値上げを歓迎する声も聞いています。今後とも共同温泉関係者との協議のなかで市営温泉の在り方を含めて共存ができるように努めていきます。

**下水道事業について**

自民党議員団

あべ しんいち  
**阿部 真一** 議員



**問** 公共下水道事業は昭和35年に認可され60年近く経過している。令和2年度の公営企業化を機に将来にわたって、持続可能な下水道事業体として、下水道整備地域の見直しを含め、あらゆる角度から検討が必要と考えるがどのように対応するのか。

**答** 安定的な経営基盤構築のため、下水道整備の全体計画の見直しや、更なる改革に取り組む中で、第三者組織となる別府市公共下水道事業経営評価委員会より、専門的な立場からの事業評価や意見をいただき、円滑に移行します。

**問** 経営評価委員会をこれまで2回開催しているが、今後委員会の意見を考慮し、具体的整備方針を示す必要があるのでは。

**答** 今後、別府市生活排水処理施設整備構想の中で、整備区域の見直しを検討し、公営企業として持続可能な事業基盤の構築が必要と考えています。

**問** 公営化に向け下水道全体整備区域の見直しによ

て、下水道が敷設されない地域住民には丁寧な説明と十分な理解を得る必要があるのでは。

**答** 地域住民の方の説明理解は必要です。経営評価委員会の意見を取り入れ、下水道整備地域の方針がまとまりましたら、来年度から対象となる地域住民の方々に説明会を行います。



**避難所機能の強化について**

公明党

あらかね たくお  
**荒金 卓雄** 議員



**問** 別府市の災害時に備える備蓄品の保管場所、品目、想定人数に対する数量は。

**答** 備蓄場所は、別府アリーナ及び各小中学校21か所です。物資品目は、国などから援助が得られるまでの3日間を目安とした食糧、生活用品、簡易トイレ、投光器など資機材です。基礎となる避難者数の想定は最大避難者数2万1374人です。

**問** 備蓄物資として、乳幼児用の「液体ミルク」を大分県内でも導入する自治体が出てきている。別府市でも導入すべきと考える。

**答** 液体ミルクの有効性は、粉ミルクのように計量や水やお湯を必要としないことです。  
缶か紙パックなので、開封して哺乳瓶に移すだけですぐに使用でき衛生的であることなど、乳児を抱えた被災者の負担軽減につながる商品であると考えます。導入に際する問題点は、粉ミルクと比べ価格が高く賞味期限が短いことです。  
市としては、災害時の物資が少ない中での利便性なども考慮し、今年度より、粉ミルクから適当な数量を液体ミルクに変更し、購入するように考えています。

### 地獄地帯公園事業について

自民新公会

山本 一成 議員  
やまもと かずなり



**問** 事業の進捗状況は。

**答** この事業は民間活力により、公園の魅力をアップするためのP-PPF-I事業を行うこととなっております。そのために選定委員会により業者を選定しています。

**問** 業者が選定されてからかなりの期間が経っている。いまだに、本契約がなされていない。選定ミスではないか。

白紙に戻してやり直すべきではないか。

**答** 選定については、学識経験者を含む5人により事業実施体制や公園にふさわしい施設であるかという評価基準に沿って選定しています。今は、実務実施体制の構築に時間がかかっています。一刻も早く特別

目的会社を設立していただき、早く事業に着手できるように、選定業者に働き掛けます。

※P-PPF-I(公募設置管理制度)民設民営の公園施設の設置とその施設から生じる収益を活用して周辺公共施設の整備を一体的に行う者を公募により選定する制度。市の財政負担の軽減、公園の質や利便の向上を目的とする。



### 条例はつくったけれど、言葉だけ

行財政改革クラブ  
泉 武弘 議員  
いずみ たけひろ



**問** 市の社団法人に1億2千万円の業務を委託している。その社団法人が

6千万円の仕事を他の業者に再委託し、1100万円の利益を得ている。社団法人には、業者の資格審査や業者登録、指名委員会などはあるのか。

**答** 業者登録名簿などについては、業務量が市役所に比べ限定的なため、用意をしていません。

**問** 市営温泉の料金改定、福祉サービスの見直しが進められている。市民に大きな負担を求める場合、市長や議会は自ら身を削らなければ市民の理解が得られない。例えば、市長の退職金の廃止や大幅減額、議員定数を大幅に減らすことが絶対に必要だと強く指摘しておきたい。

26年9月、障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例が施行されたところが現状をみると、条例はできたが遅々として進んでいない。歩けない歩道が随所にみられ、富士見通り、駅前(魚住町東立田線)の歩道上に、電柱33、街灯柱55、標識柱14、ミラー4、量水ボックス32がある。このように、歩けない歩道が市内随所にある。とこ

ろが、歩道改修予算をみると、年間わずかに1100万円程度しかない。予算の付いた実施計画をつくりパリアーの無い社会を実現すべき。

**答** 全体を勘案しながら、積極的に安心・安全に過ごせ、生活できるまちづくりをしたいと思っています。

### 学校給食調理場をなくさないで!

日本共産党議員団  
平野 文活 議員  
ひらの ふみかつ



**問** 市長選挙、市議選挙が終わった直後の昨年5月に、突然、「学校給食調理場のあり方検討委員会」から、小学校の給食調理場を廃止し、共同調理場に一元化することという意見書が出された。この検討委員会は昨年1月に設置されたというが、設置予算を議決した記憶がない。どの予算を使って設置したのか。

**答** 平成30年度予算の中から流用させてもらいました。

**問** それはきわめて不自然。「福祉のあり方検討委員会」も、補正予算を議会で議決したうえで設置している。70年以上も定着した小学校の単独調理場方式の廃止という大きな政策変更を、できるだけ目立たない方法で進めた。なぜこんな姑息なやり方をしたのか。

**答** 安全安心な給食を一刻も早くという思いで、進めさせていただきました。

**問** 「検討委員会」意見書には一元化のデメリットとして、食中毒の被害が全校に広がる、配送に時間がかかる、献立に制限があり冷凍食品や加工食品が多くなる、アレルギー対応で保護者との連携がとりにくいなど列挙されているが、給食調理場としては致命的な欠陥ではないか。

**答** これらの課題も解決は可能と考えています。



共同掘削温泉について

公明党

市原 隆生 議員



問 ホテル・旅館の大浴場、数ある市営温泉、市有区営温泉に加え、複数の世帯が共同で掘削し、各家庭にお湯を引き込んでいる自家温泉もある。

これらすべての温泉の形態が別府の温泉文化であり、特に自家温泉の数の多さは他都市に比べるものもない特徴である。しかし、この自家温泉の維持について問題が起きている。泉源維持のため再掘削する時に、最初の掘削から数十年を経ていることから共同名義の採取権者全員の書類が揃わず、掘削工事が始められないという事態が発生している。固定資産税についても、転居していった家庭に郵便等で知らせて集金し、納付しているケースもある。今から10年・20年後は更に事態は厳しく、自家温泉が消えていってしまう心配がある。

行政として、他都市に無い独自の温泉文化を守る意味から、何かできることがないか考えていただきたい。

答 温泉の採取権者については登記がなされており、法律の扱う部分と認識しています。しかし今後このようなケースは増えていくと予測されることから再度考え方を大分県へ伺いたいと思います。

中規模多機能自治について

自民党議員団

日名子敦子 議員



問 中規模多機能自治に向けての行政の考える理想のまちづくりとは。

答 人口減少、少子高齢化社会にあり、複雑多様化する地域課題や市民ニーズに対応していくためには、市民や地域住民、事業者など地域社会を構成する多様な主体が互いの力を発揮し

尊重しながら、効果的に解決していく自治を進めるため、「自らのまちを自らよくする」という意識醸成を図りながら自治機能の維持や地域の存在を確保していくための「仕組みづくり」に取り組み、将来にわたり住民が安全・安心に暮らすことができる持続可能なまちづくりを協働で進めていきたいと考えています。

問 地域では、「ひとまもり・まちまもり自治区形成事業」の取り組みによる組織作りが進んでいるが、現在の状況は。

答 中規模多機能自治を目指すうえで、地域包括支援センターの配置に合わせた自治区内の、5つの自治区において「ひとまもり・まちまもり協議会」が設立されており、中規模多機能自治の基礎となる地域運営組織の構築が進んでいるところです。

問 今後、どのように進めていくのか。

答 協議会の組織が単なる枠組みに留まらないよう連携を強め、組織力強化や人

材育成による「円滑な組織運営」行政による財政支援や人的支援、環境整備等の「仕組みづくり」を進め、住民が地域社会に参画する持続可能なまちづくりにつなげていきたいと考えています。

小学校給食のセンター化について

日本共産党議員団

美馬 恭子 議員



問 給食ドリーム、幸せな給食づくりは、一人一人がみんなの子ども、みんなの幸せを考える時から始める。よりよい給食を作るために、関わるたくさんの人たちと立場を超えて話し合い、お互いを尊重し、今回のセンター化を作り上げてきているか。

答 単独調理場のみならず共同調理場においても、栄養職員や調理員が子どもたちがおいしく食べる笑顔を思い浮かべながら調理作業

を行っています。

問 3時間目になると給食のいい匂いがしてくる。「今日はなんやったかな」「もう少し我慢して座っておこう」と子どもたちの声が聞こえる。「こら、勉強中」と怒りながらも、子どもたちとの会話がクラスを和ませる。この状況はセンターになった場合にも持てるのか。

答 直接的には厳しいかもしれませんが、共同調理場になっても作り手の顔が見えるようにしていきたい。

問 学級担任と教科担任、栄養教諭が連携し、給食時間にもより各教科においても給食を活用しての教育計画を立てている。今後もしもきめ細やかな対応はできるか。

答 現在別府市には2名の栄養教諭を配置しています。今後可能な限り対応していくため県には栄養教諭の加配の要望を続けていく予定です。





海外からの観光客の対応について

自民党議員団

まつかわ まつかわ 松川 章三 議員



**問** ラグビーワールドカップ日本大会の大分開催で、県内の延べ宿泊者数が、前年対比同月比で2.3%増の39万1512人とのことだが、経済波及効果はどうか。

**答** 本市の算出は行っていません。県が算出中です。

**問** 延べ宿泊者数約39万人の内、約3万4千人が欧米豪州からの観光客である。市民の受け入れ態勢はどうしたのか。

**答** 市、商工会議所、Biz LINK、市内の主な組合、団体等で組織したおもてなし観光班会議で北浜おもてなしゾーンの運営について協議・対応をしました。

**問** 外国人の文化の違いによるトラブルはなかったか。

**答** 北浜おもてなしゾーンで、歩道をふさぎ警察官が対応した件がありました。今後は文化の違いを含めて、多角的な対応が必要と考えています。

**問** 今大会ではレガシーという言葉をよく聞く、市はこのレガシーを今後どのように活用するつもりか。

**答** 4つのレガシーを得ることが出来ました。感動、交流、挑戦、誇りです。これらのレガシーは来年のオリンピック・パラリンピックをはじめ、国際的なイベント、市民スポーツの推進等の施策に生かしていきます。

観光行政インバウンド対策について

自民党議員団

のぐち のぐち 野口 哲男 議員



**問** 本市における最大のインバウンドであった韓国からの観光客の激減は、観光業界にとり死活問題ともいわれている。大分路線で大韓航空やティーウェイ航空も来年3月まで運休、再開の目途はなく運休期間はさらに長期化する可能性との情報もある。

各国の観光客等の消費単価をみると、韓国7万円超、台湾タイが12万円超、香港が15万円超、中国が22万円から25万円となっており、中国観光客の動向が大きな鍵を握ると思われる。別府市と中国煙台市は姉妹締結して35年となる。これまで代表団の派遣や留学生の交換を行ってきたが観光客の相互問題はなかった。現在北京煙台福岡間の直行便が週4便就航中であるが別府への入込みはあまりない。今後、煙台と北九州空港との直行便就航が計画されている。この際互いに旅行企画商品の開発等を行いSNS等の活用、情報の発信により誘客の拡大を図ることが喫緊の課題である。早急に対策を。

**答** 韓国市場は観光客の激減で厳しい状況にあると認識しています。中国市場に

墓じまいについて

自民党議員団

まつかわ まつかわ 松川 峰生 議員



については消費額を押し上げる中間層以上の個人旅行者を対象とし、上海中心に中国人観光客の思考動行に合わせたプロモーションを来年の春節、夏休み、国慶節にあわせて1年間実施する予定です。北九州空港の動向に関しては今後注視していきます。

**問** 子供がいけないなどの理由で、墓の継ぎ手がいない墓のある場所から離れて暮らしていることから、祖先代々の墓を閉じることや、引越しをすることを考えている人が増え、近年さまざまな理由で全国的に墓じまいの件数が増加している。

市営墓地でも墓じまいの申請が増加傾向にあると思うが、市営墓地の数と使用者が不明な無縁墓と思われる数は。

**答** 市営墓地は5ヶ所で6155基、使用者が不明な墓地は令和元年11月末現在、5ヶ所で1076基となっています。

**問** 約17.4%が無縁墓といえるが、過去5年間の市営墓地の新規申込数の何%が希望通り墓を使用できているのか。

**答** 平均31.8%となっています。

**問** 無縁墓の問題について、行政としては今後どのように対応していくのか。

**答** 無縁墓の問題は今後全国の市町村が抱える社会問題と認識しています。無縁墓を整理することは墓地確保問題を解消すると同時に、新たな墓地のあり方について考えるきっかけともなります。今後はあらゆる機会を捉えての継承者による手続きや既存墓地のスペース活用の効率化などの再整備を図りながら、新たな墓地経営としての機能を充実し中長期的視点としてとらえていきたいと考えています。

幼保無償化の副食費について

公明党

穴井 宏二 議員



**問** わが党が11月から行っている幼児教育・保育の無償化に関する実態調査の中間報告では、利用者の87.9%が「幼保無償化を評価やや評価」。保育料負担が減ったとの声が66.2%。今後取り組んでほしい政策は、「保育の質の向上」「0〜2歳児の無償化の拡大」「待機児童対策」と答え、施設側は、59%が「事務負担の増加」政策面での要望は「処遇改善等への取り組み」であった。この調査結果をどのように考えるか。

**答** 調査結果にありますように利用者負担が減ったのは事実です。また、施設等におきましては、新たに作成する書類や副食費の徴収などで負担となっている部分もあるのではないかと考えます。

**問** 副食費については、実態調査でも減額要望や事務の軽減要望が出ているが行政として今後現場の声を踏まえ、どのように対応していくのか。

**答** 市は国の制度に即して幼児教育・保育の無償化を実施しており、引き続き保護者、施設等についても丁寧に説明していきたいと考えています。再度、公立・私立の施設長会などで現場の声を聞き取り、市で対応が難しい部分につきましては、県、国に声を届けていきます。

電子図書館サービスについて

市民クラブ

加藤 信康 議員



**問** 電子図書の取り扱いを始めている自治体が増えていますが、視覚障がい者に対するサービスの現状は。

**答** 平成30年の国立国会図書館の調査では、視覚障がい者へのサービスに特化した場合、録音資料等の貸出サービスを行っている図書館は県内では大分県立図書館のみとなっています。

**問** 令和元年6月に通称「読書バリアフリー法」が施行された。別府市では新図書館建設計画が進んでいるが、視覚障がい者に対する図書、読書の普及という点において、新図書館建設は大きなチャンスであるが、どういう形で持ち込むのか。

**答** 読書バリアフリー法では、国の基本計画策定が義務付けられているため、国の基本計画策定を踏まえて今後の動向を注視していきます。現在、新図書館等整備基本計画策定委員会では、「誰もがアクセスできる図書館」を整備することとし、「高齢者や障がい者の読書支援」等について協議が行われています。

電子図書館サービスの具体化については、蔵書方針選書方針に基づき現場で検討することが適当と考えていますが、日本点字図書館や国立国会図書館ほか、関係機関が行う電子図書サービスの利用が検討課題と考えています。

別府市の財政は大丈夫なのか

自民党議員団

首藤 正 議員



**問** 平成30年度普通会計決算等の実質単年度収支は、10億3千万の赤字、経常収支比率は97.5%となっております。財政悪化に危機を感じている。今後の計画で「ブルラグリーン構想」「ツーリズムバレー構想」「図書館建設」「統合中学校建設」「給食センター建設」等の大型事

業が目白押しに控えているが、令和4年までの財政見通しを数字で説明を。

**答** 財政収支見通しは、令和元年度約10億6千万円、令和2年度約11億円、令和3年度約3千6百万円、令和4年度約2億3千万円の赤字が続く見込みです。市債（借金）は令和元年の約356億円から令和4年度には約414億円となり、約58億円の増加、主要基金（預金）は令和元年約78億3千万円から令和4年度には約64億9千万円と約13億4千万円の減となります。

**問** 赤字財政収支が続き市債（借金）は増加、基金（預金）は減少し財政に厳しい状況が続く危機を感じている。今後の対策方針については。

**答** 社会保障費等の急増など一層の財政の財政負担が見込まれます。これらさまざまな政策課題を解決し、福祉の充実を図り幸福な市民生活実現のため第4次行政改革推進計画のすべての改革項目に取り組み、目標とする効果以上の成果を上げ、健全な財政運営をしていきます。



入浴料の改定について

自民党議員団

黒木愛一郎 議員



**問** 先般示された市営温泉の入浴料改定案は、報道等でも大きく取り上げられており市民の関心も非常に高い。今回の改定方針に至った経緯は。

**答** 市営温泉の運営は、長年赤字の状態が続いており、近年では年間約1億2500万円の赤字の見込みとなっています。これまで、公共施設という面からも安価な料金設定を続けていましたが、温泉や建物の維持管理には多額の経費がかかることから、今後も市営温泉を適正に管理していくためにも入浴料改定は避けられないと判断し今回の改定方針に至りました。

**問** 改定は、後世に負債を残さないためにも必要なことであると思う。ただ、市民の負担を伴うものである

ため、十分な説明と理解を求めることも必要だと考えるが、市長の思いは。

**答** 長年、入浴料の値上げを行わなかったのは日常的にできるだけ安い料金で利用できるようにとの思いからだと感じていますが、毎年多額の赤字を出し続けていることを考えれば入浴料が安すぎたのではないかと感じています。しかし、多くの方が利用されている点では配慮の必要性があるとも思っています。また、収支の改善と同時に、共同浴場という地域のコミュニティや文化を守っていくことも大きな目的のひとつであるのでそのことを念頭に取り組んでいきます。

## 行政視察

常任委員会では所管している分野に関する知識を深め、さらなる調査を進めるため、他自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行っています。

### 総務企画消防委員会

令和元年11月12日～14日

● 防災の取り組みについて(実地視察)【神奈川県 横浜市】

市民等の自助・共助を促進する中核施設として、「自分の命を守る自助意識」、「お互いに助け合う共助意識」の啓発と、その行動を起こすことができる人を育成する。

● 防災対策の推進について(実地視察)【東京都 北区】

自主防災組織、児童生徒等に展示による学習・地震・煙などの訓練や体験を通して、防災意識の高揚と防災行動力の向上を図る。



### 観光建設水道委員会

令和元年10月29日～31日

● 中心市街地のまちづくりと賑わいの創出について、  
長岡市民防災公園の整備(実地視察)【新潟県 長岡市】

公共サービスを中心市街地へ再集積することにより、「まちなか」に多くの人が訪れる仕組みづくりを展開し、商店街等の賑わいの創出を図る。

● 公共空間を活用した賑わいの創出について【東京都 新宿区】

全国初となる公道を活用した「オープンカフェ」を実施し、違法駐車、駐輪等により活気を失った商店街の再生を図る。



### 厚生環境教育委員会

令和元年10月29日～31日

● 学校給食共同調理場の建設及び運営等について【茨城県 日立市】

老朽化等の問題を解消するため、新たに調理場を建設し、調理等業務はプロポーザル方式により事業者を選定し、安全・安心な学校給食を安定的に提供する。

● 図書館での取り組みについて(実地視察)【茨城県 水戸市】

● 廃校施設の有効活用について【茨城県 水戸市】

民間活力を導入し、施設の有効活用を図る。



\*常任委員会の行政視察報告の詳細は別府市議会ホームページで公開しています。



## 市民と議会との対話集会(議会出前講座)を開催

令和元年10月18日から11月18日(4日間)にかけて市内4校の高等学校を対象に「市民と議会との対話集会」を行いました。意見交換時に参加生徒からいただいた声をご紹介します。

### 別府鶴見丘高等学校(10月18日実施)

【テーマ:将来の別府に希望すること】

人口減少対策、少子高齢化対策及び移住者対策に力を入れる必要があると気づく事ができた。別府は観光都市ではあるが、若い人たちにも興味を持ってもらう事業(インスタ映え等)も考えて欲しい。

商店街に活気がない。学生も楽しめるような商店街になるよう、別府市と商店街の連携が必要だと思った。



### 別府翔青高等学校(11月5日実施)

【テーマ:別府市の活性化】

別府市の活性化について、本当に疑問に思っていることが聞けてよかった。自分の将来の夢の実現に向けて、別府のことについて一生懸命考えることができた。また、変えたいことがあるのならば、自ら行動すべきであると理解できた。同じ班の中で、自分と違う意見がたくさん聞けて自分の視野が広がった。



### 別府溝部学園高等学校(11月11日実施)

【テーマ:これからの別府に必要なこと】

市民と議会の対話集会は、最初、堅苦しかったけど、楽しみながら良いお話が出来て、自分達が出した質問の一つずつ丁寧に答えてくれて、わかりやすかった。

特に通学時間帯に公共交通(JR・バス)の増便など利便性の良いダイヤ設定や、通学路の歩道整備をして欲しいと思った。



### 明豊高等学校(11月18日実施)

【テーマ:議会の役割】

議員さん達とは今まで接触する機会もなく、遠い存在だと感じていたが、議会の仕組み、市の問題点など理解ができた。私たちの質問・要望にも丁寧にこたえてくれて非常に親しみがわかった。

別府市のことに対し、私たちも声を出していることがわかって勉強になった。



広報広聴委員会委員  
榎田 貢

今後多くの市民の皆さまとふれあい、しっかりと声を届けることで良い街づくりに向けて、なお一層の努力を尽くしてまいります。  
まだまだ寒い日が続きますので、お身体には十分ご自愛いただき、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

この度広報広聴委員会に所属させていただきました。委員として、市民の方々に市議会の活動をしっかりと周知してもらえ活動をしていく所存です。さて、昨年10月から11月にかけて実施した対話集会では、別府鶴見丘高等学校、別府翔青高等学校、別府溝部学園高等学校、明豊高等学校の市内4校の高校生の皆さまと意見交換を行いました。

現役高校生の別府への思い、もともと良い街になってほしいという気持ちや伝わってきました。当委員会は、高校生の皆さまの声を少しでも行政に反映させることが大切だと考え、出された意見をまとめて行政側へ提出することを予定しています。



編集後記